

マクちゃん通信

2020 10 - 11 vol. 64

絵本作家インタビュー シゲタサヤカ

特集 絵本を読むこと



シゲタサヤカ



シゲタサヤカ プロフィール

1979年 神奈川県生まれ群馬県育ち。

2009年、第30回講談社絵本新人賞 佳作受賞作「まないたに りょうりを あげないこと」(講談社)で絵本作家デビュー。主な絵本に「キャベツがたべたいのです」(教育画劇)、「オニじゃないよおにぎりだよ」(えほんの杜)、「わりばしワリーもういいよ」(鈴木出版)、「いくらなんでもいくらくん」(イースト・プレス)、「たべものやさん しりとりたいかい かいさいします」(白泉社)など。

神奈川県在住。

完全にストーリー重視。
文章を完成させるまでの道のりが一番大変です。
「どこかでクスッと笑えること」や
「ありきたりではない、驚きを含んだ展開」などを
常に意識しています。

絵本原画展開催

令和2年9月19日(土)～11月19日(木)



「まないたに りょうりを
あげないこと」(講談社)



商店街で「しりとり大会」開催! おすしやさんチームにパンやさんチーム、ラーメンやさんチーム…
優勝はどのお店!? 笑いと涙ありで、心も満腹に!



「たべものやさん しりとりたいかい
かいさいします」(白泉社)

原画展示絵本

秋のギャラリーでは、ユニークな発想と個性的なキャラクターが大人気、シゲタサヤカさんのデビュー作

「まないたにりょうりをあげないこと」と、最新作「たべものやさんしりとりしたいかい」を「ご紹介しします」

シゲタサヤカ先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

もともと絵を描くのが好きで、イラストレーターになりたいと思っていました。そこで築地にあるパレットクラブスクールの「イラストコース」へ通うことにしたんです。申し込みの時にふと、お隣「絵本コース」の講師「寛」を見たところ……子供のころに大好きだった和歌山静子さん、スズキコージさん、飯野和好さん、長新太さんなどのお名前を発見！「とにかくお会いしてみたい！」という一心で「絵本コース」に希望を変えました。結果的に絵本の表現方法が自分に一番合っていたので良い選択でした。

20代後半はずっと絵本コンペに応募→落選の日々が続きましたが、講談社絵本新人賞の佳作を3年続けて受賞したのがきっかけで30歳で初めての絵本を出版することができました。

画材は何を使っていらしゃいますか？

アクリル絵の具です。最近はフォトシヨップで着色することも……

今回、原画を展示する絵本の制作秘話や思い出を教えてください。

「まないたにりょうりをあげないこと」

記念すべきデビュー作です。あるとき近所の魚屋さんの前を歩いていたら、店の前に洗い終わったばかりの「まないた」が立ってかけてあったんです。それがかなりの大きさで！「まないた」が大きいって、ちょっと面白い」と感じ

たことが頭のどこかに残っていて「まないた」が料理を食べてどんどん巨大化する」というストーリーにつながりました。

「たべものやさんしりとりしたいかい」は「最新作です。『しりとり』って『ん』がついたら即終了だなんて、結構シビアなルールだな。遊びというより競技っぽいな」と思ったのがきっかけです。

「食べ物でいつたらパン系なんてほとんどダメじゃん……」って。そこから「あれ？この設定、お話にできるかも。競技っぽいから大会にしよう！」とひらめいて誕生した絵本です。ぜひ、パン屋さんチームよりもさらにピンチな「あの最悪チーム」を応援しながら読んでもらえたら嬉しいですね。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は？

やっぱり1作目の「まないたにりょうりをあげないこと」です。

もともと講談社絵本新人賞に応募するために1人で完成させた作品ですが、出版するにあたって再び編集者さんと二人三脚でストーリーも絵も大きく直しました。ラフを何冊も作るのには大変でしたが完成した時の喜びは今でも忘れられません。自分の絵本が本屋さんに並びだすなんて夢みたいで、嬉しさのあまり自作ポスツを手に何軒も書店さんへ回ったことも良い思い出です。

絵本を通じてお伝えになりたいことは？

ただただ読者の方には絵本を読んでいるその瞬間を楽しんでもらえれば……と思います。

今後どのような絵本を描いていかれますか？

デビューから10年間でちょうど10冊出しました。全て「食べ物」の絵本です。

別のテーマでも描いてみようかと試行錯誤もしましたが、どうにもこうにも無理でした。きつとこれからは「食べ物」のユーモア絵本を描き続けたいです。

ご趣味についてお聞かせください。

趣味と言えるのは分かりませんが、美味しそうな食べ物や、料理を作っている人を見るのが好きです。特に「お皿の上に、色とりどりに盛り付けられている料理」を眺めているだけでワクワクします。ずっと食べ物の絵本ばかり描いているのはそういう訳です。

お好きな言葉を教えてください。

「マッというときは笑うんや」
大好きな西原理恵子さんの漫画に出てくるセリフです。今こういう毎日なので余計に心に響きます。

ファンの方へメッセージをお願いします。

いつも作品を楽しんでくださってありがとうございます。

読者の方に「面白かった！」と言っていただけのこと何よりも嬉しく励みになります。近頃は子育てに追われて絵本作りはスローペースですが、また次回作もみなさんに笑ってもらえるように頑張ります。

シゲタサヤカ先生、ありがとうございました！

シゲタサヤカ先生の サイン入り絵本を3名様に プレゼント



「たべものやさん
しりとりしたいかい」
（白泉社）

応募方法 氏名、年齢、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
シゲタサヤカ サイン本プレゼント係
締め切り 令和2年12月10日 消印有効
※発送は発送をもって代えさせていただきます。



ばくも、おいしい料理を食べてみたい〜
まな板がしゃべる!? 食べる!? よみきかせにぴったりの楽しい絵本。



尾木沢 智子

小松市立空とこども絵本館 館長

特集 / 絵本を読むこと

心を近づける

大人と子どもが、1冊の絵本を共に読み、広がる想像を楽しむ。そのための場所として「小松市立空とこども絵本館」は生まれました。今から14年前の夏のことです。

絵本作家の話が聞きたい、原画展を開催してほしい、絵本と音楽とのコラボレーションがあれば……。リクエストに応える日々の中には失敗もありましたが、それらすべてが成長の証なのだと思ひ合い、笑って前を向いて過ごしてきました。

が、ここへきて、どうにもならない事態が出来。今年ほど、迷い、悩んだことはありません。原因は新型コロナウイルス感染症の広がりです。いつ終わりがくるのかもわからないまま、目に見えない微細なものに怯える不安な日々が、今も続いています。

1か月あまりの休館のあと、制限つきではありますが、絵本館は再び開館しました。が、顔の半分を覆うマスクのせいで、話しかける大人の唇の動きが見えない。手を伸ばしても、透明で硬い壁に阻まれる。何かがおかしい、いつもと違う……。そんな子どもたちの表情を見るたびに、こちらの胸は痛みます。子どもを膝に抱き、その温かみの中で共に絵本を読むことが、どんなに心安らかなものであったか。

できなくなって初めて知る、深い喪失感でした。

そんなある日、1人の女の子に会いました。小学2年生だというその子は、仲の良かった友だちと別れたばかりでした。急に友だちの引越しが決まったこと、休校中でお別れ会もなかったこと。顔にかぶさる髪を払いながら、ぼつぼつと話す様子が見つからず寂しげです。かける言葉が見つからずに悩む中で、ふと思いついたことがありました。そうだ、絵本だ、絵本がある！

好きな絵本は？という問いに、その子が答えたのは「わにわにのおふろ」（小風さち／文 山口マオ／絵 福音館書店）でした。私も好きな絵本です。いっしょに「うりうりうりうり オーイー」と手を挙げたり、「ぐにっぐにっぐなっぐなっ」と体をゆすったり。ハイタッチこそしませんでした。楽しく盛り上がりました。人と人とは深くつながっていて、その輪は驚くほど大きく、広い。皮肉にも、今回の感染症の広がりが教えてくれたことです。心も同じです。少しの距離などものともしない強さでつながっているはずのものなのです。そのことを信じて、共に絵本を楽しむための新しい方法を探っていきたいと思っています。

私のおすすめ絵本

「としかんライオン」

ミシェル・ヌードセン／作
ケビン・ホークス／絵
橋本友美子／訳
岩崎書店



ルールは大切、でも…と考えさせられます。

「よあけ」

ユリー・シュルヴィッツ／作・画
渡田典二／訳
福音館書店



文章と絵の美しさ。余韻に浸る幸せを感じます。

「フレデリック」

レオ・レオニ／作
吉川俊太郎／訳
好学社



14年前に初めて手に取り、手放せなくなった絵本です。

「びょーん」

まつおか たつひで／作・絵
ポプラ社



声をそろえて飛び上がる子どもたちに、見とれてしまいます。

「せかいいちおいしいスープ」

マーシャ・ブラウン／作・絵
こみや ゆう／訳
岩崎書店



思いがけない展開に、笑いながら心が温かくなります。

「たいようオルガン」

荒井良二／作・絵
徳成社



輝くような絵と、助詞を省いた言葉が、音楽となって響きます。